

2011年9月24日（土）、25日（日） オープンキャンパス実施報告

学長挨拶、こども学科・入試説明

学長の挨拶よりはじまり「こども学科の説明」→「入試説明」→「当日の日程」など
パワーポイントを使用して本学の説明がされました。
それぞれの体験授業の様子は下記のとおりです。



複数回参加者対象 体験授業 担当：伊藤教授

はじめに、リピーター用の授業を実施しました。

これまでの「障害のある人の心に寄り添う～アイマスク体験をしよう～」をさらに充実させました。

アイマスクや白杖を使っての歩行体験には、歩くことの不安さ、

杖や近くにいる人の言葉かけのありがたさなどの感想がありました。

手の触覚だけで箱に入っている物を探し当てる学習には、ドキドキ、ワクワクで楽しんでいました。



「脳のおはなし」～子どもの脳の不思議～ 担当：牛込教授

人間が言葉を獲得するには、それに適した時期があり、その時期を逃してしまうと
獲得することが困難になることを知りました。

また、錯視の例を体験する中で、人間の脳はだまされやすいことを
知ることができました。



「しかけ歌あそびを楽しもう」 担当：関根講師

今回は3年生を中心にたくさんの生徒さん、そしてお母様が参加して下さいました。ただ「歌を歌う」のではなく、見て、聞いて、動いて、作って、歌（音）を楽しむ…まさに先生の気持ちで楽しめたのではないのでしょうか。はじめは小さかった歌声も最後は大きく教室に響きました。



「身振り・手振り・手話等全身でお話をしよう」 担当：伊藤講師

オープン・キャンパスでは「身振り・手振り・手話等全身でお話をしよう」と言葉を発しないで自己紹介とジェスチャーゲームを行いました。このゲームを通して伝えることの難しさと伝わった感動を味わったようです。



保護者懇談会「学生相談室から」稲垣講師

今回は、青年期のころについてのお話と、学生相談室の利用に関するお話をしました。

「皆さんにご自由にお話して頂くような場を設けたのですが、時間も限られたため、お話を深めるところまで進めることができず残念でした」との稲垣講師の感想。

その後、保護者の方々は学生相談室を見学して頂きましたが、「箱庭」に大変興味を持たれた様子でした。学生相談についてイメージ頂ける良い機会になったと思います。



本日の純真ランチ

五目御飯、チキン南蛮、ポテトサラダ、ブチトマト、フルーツゼリーでした。